

# 大船渡市

## 第19号

平成26年2月20日発行



# 消防団だより

### 主な記事内容

- 団長年頭あいさつ ..... P2
- 防災訓練・秋季消防演習 ..... P3
- 出初式特集 ..... P4・5
- 末崎小学校防火作品 ..... P6
- 大船渡市消防団 1年のあゆみ ..... P7

# 平成26年大船渡市消防出初式



## 義勇愛郷精神で 纏りにのせて火の用心

『消すまでは 心の警報 ONのまま』

2013年度全国統一防火標語

編集・発行：大船渡市消防団（大船渡市盛町字木町1-1 Tel0192-27-2119）

大船渡地区消防組合ホームページ <http://www.fd-ofunato.jp/>



# 団長年頭あいさつ

大船渡市消防団 団長  
新沼竹美

輝かしい平成26年の新春を迎え、市民の皆様には謹んで年頭のごあいさつを申し上げますとともに、日頃より消防団活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、平成25年を顧みますと、消防行事では3年ぶりに大船渡市消防操法競技会を開催しました。震災の影響で練習場所の確保が難しく、消防屯所も復旧していない中での開催でしたが、無事成功裏に終わることができました。これも団員および関係者各位のご協力によるものであり、あらためて御礼申し上げます。

火災につきましては、抑止目標を14件に設定し、予防活動を展開した結果、目標を下回る12件の発生にとどめることができましたが、残念ながら住宅火災において3月に4人、11月と12月に1人ずつ、計6人の犠牲者が発生いたしました。消防活動の使命は、人命の安全確保が最優先でありますので、全分団に夜間特別警戒態勢の強化を指示したところであります。火災件数の抑止もさることながら、

婦人防火クラブをはじめ地域の皆様と協

力しながら、本年こそ犠牲者ゼロを目指し、予防活動の徹底を図ってまいります。

また、昨年は台風や局所的な集中豪雨などの自然災害においても、全国的に甚大な被害が発生しております。津波注報も二度発表され、当市では20センチメートルの津波が観測されました。

このような中、われわれ消防団は消防の原点である「わが郷土、大船渡は自分たちで守る」という義勇と愛郷の精神のもと、これまで以上に訓練を重ね、市民の安全と安心の確保に努めてまいること、新春の消防出初式において、誓いを新たにしたいと考えております。

結びとなりますが、大船渡市の一日も早い復旧・復興を願うとともに、大船渡市民のご健勝と本年が無災害でよりよい年であることをご祈念いたします。年頭のあいさつといたします。

## 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定！

(平成25年法律第110号 平成25年12月13日公布・施行)

阪神・淡路大震災や東日本大震災などの経験を踏まえ、また、局所的な豪雨、豪雪や台風などによる災害が各地で頻発している現状と社会経済情勢の変化を鑑み、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図り、住民の安全確保に資することを目的として本法律が制定されました。消防団を「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と規定し、消防団員の確保、処遇の改善、装備や教育訓練の充実について、国および地方公共団体は必要な措置を講ずることが義務化されました。

## ニューフェイス紹介

所属 第1分団第4部  
氏名 鈴木 唯斗  
年齢 20歳  
特技 バルーンアート



休日の過ごし方  
先輩と遊ぶ  
消防団に対する希望  
消防屯所の早期建設をお願いします。  
先輩から一言  
父親から受継いだはずの熱い魂と一緒に消防団活動を頑張りましょう。

所属 第2分団第2部  
氏名 山崎 翼  
年齢 19歳  
特技 卓球



休日の過ごし方  
家で寝ています。  
消防団に対する希望  
地域のために貢献できるように頑張っていきたいと思っております。  
先輩から一言  
部的小伙伴们と一緒に頑張りたいきましょう。

所属 第3分団第2部  
氏名 船本 洋道  
年齢 27歳  
休日の過ごし方



中古品店で物色などをしています。  
消防団に対する希望  
自分はマイペース過ぎるので、あまりにも甚だしかったならば、しかって下さい。  
先輩から一言  
この大変な時期に入団してくれて頼もしく思います。仲間と一緒に色々な経験をして欲しいです。

# 防災(津波)訓練・秋季消防演習

平成25年10月6日(日)、東日本大震災を教訓として、今後の災害発生時における消防団員の安全管理に対する意識の向上および防災関係機関相互の協力体制の確立、併せて消防活動の検証を目的として市内全域で防災訓練を実施しました。

大規模地震によりライフラインが損壊し建物火災が発生、沿岸部には最大10メートルの津波が来襲し

たとの想定で行われ、沿岸分団は消防団安全管理マニュアルに従い「20分ルール」で避難誘導訓練、山手分団は建物火災を想定した火災防ぎょ訓練を全車両に配備されているデジタル無線機を使用し実施しました。どの訓練も実践的に行われ、各分団では、訓練を検証し今後の災害活動に反映させていきます。



第1分団指揮所



避難訓練 盛小学校



防災部



防災部 情報班



消防演習 盛川河川敷公園



人員報告

## ニューフェイス紹介

所属 第4分団第1部  
氏名 滝田 龍也

年齢 20歳  
特技 バスケット

休日の過ごし方

映画鑑賞、ドライブ

消防団に対する希望

消防屯所の早期建設

先輩から一言

野球、バスケットとスポーツマンの龍也君！操法競技会の選手も期待しています。



所属 第5分団第1部  
氏名 小澤 春樹

年齢 28歳  
特技 子守り

休日の過ごし方

釣り、寝て過ごす

消防団に対する希望

怒らないで指導して下さい。

先輩から一言

良き先輩を見習い、1日も早く地域に頼られる消防団員になって下さい。



所属 第6分団第3部  
氏名 佐々木 烈

年齢 27歳  
特技 スポーツ

休日の過ごし方

家族サービス

消防団に対する希望

地域の皆様が安心して暮らせる

消防活動をよろしくお願いします。

先輩から一言

消防活動に積極的に参加し、経験を積み重ね、一緒に楽しく頑張りましょう。



所属 第7分団第1部  
氏名 佐藤 希

年齢 27歳  
特技 サッカー

休日の過ごし方

漫画を読むこと

消防団に対する希望

若い団員が増えて欲しいです。

先輩から一言

頼もしい人材が入りました。今後の活躍を期待しています。



所属 第8分団第1部  
氏名 藤原 涼太

年齢 19歳  
特技 料理

休日の過ごし方

内陸遠征、ドライブ

消防団に対する希望

目指すは無災害・無火災！

先輩から一言

大変なことも多いけど、みんなで頑張りましょう。



所属 第9分団第4部  
氏名 杉山 竜太

年齢 28歳  
特技 ホース巻き

休日の過ごし方

ドライブ

消防団に対する希望

旅行に連れて行って頂けるよう

精一杯頑張ります。

先輩から一言

病気に気をつけて頑張ってください。



# 大船渡市消防出初式

平成26年大船渡市消防出初式



式典会場 リアスホール



「火の用心」を三唱する金野副市長

平成26年1月5日(日)、快晴の冬空のもと盛町商店街とリアスホールを会場に新春恒例の平成26年大船渡市消防出初式が開催されました。3年ぶりに行われた分列行進では、勇壮華麗なまとい振りを先頭に、消防職団員、婦人防火クラブ、車両部隊が士気を鼓舞するラッパ吹奏を背に堂々と行進しました。その雄姿に沿道からは、熱い声援が送られました。式典では、無火災分団表彰、ラッパ隊員・まとい組員の定例表彰、日本消防協会家族団員表彰の伝達が行われたほか、まとい組によるまとい振り、3年ぶりとなるラッパ隊のドリル吹奏が行われ、詰め掛けた観衆を魅了しました。

最後に金野副市長の音頭により「火の用心」を参加者全員で三唱し、新年の防火、防災の誓いを新たにしました。

昨年は消防団が発足して120年の節目の年となったことから、地域防災の中核を担う消防団の重要性と存在価値をあらためて認識するとともに、消防職団員相互の団結を基に防災の先頭に立つ心構えを新たにしたいと、素晴らしい出初式となりました。



総監による観閲

勇壮華麗なまとい振り

無火災分団表彰

頼もしい消防団の行進

観衆を魅了したドリル吹奏

婦人防火クラブの皆さんも堂々行進

総監年頭あいさつ

まとい組員表彰

ラッパ隊員表彰

日本消防協会家族団員表彰  
(左 金野家 右 黄川田家)

参加者全員で火の用心三唱

## ニューフェイス紹介

所属 第10分団第3部  
氏名 千田 賢明  
年齢 32歳  
特技 どこでも寝られる  
休日の過ごし方  
ドライブ、遠出  
消防団に対する希望  
ご指導よろしくお願いします。  
先輩から一言  
久しぶりに入った新入団員です。これからも10-3を盛り上げて行ってほしいと思います。



所属 第11分団第2部  
氏名 中村 崇嗣  
年齢 21歳  
特技 タイピング  
休日の過ごし方  
読書、パソコン  
消防団に対する希望  
これからよろしくお祈いします!  
先輩から一言  
消防団は縦のつき合いが楽しい所です。使命と責任感を持ちながら頑張ってください。



所属 第12分団第3部  
氏名 伊藤 英  
年齢 20歳  
特技 パイ生地作り  
休日の過ごし方  
新春マラソンに出るため練習  
消防団に対する希望  
和気あいあいとした中でも緊張感を持ち活動していきたいです。  
先輩から一言  
先輩達から消防団員として分からない事を聞きながら、これからの消防団活動を頑張ってください!



### 消防団員家族表彰

消防団120年・自治体消防65周年記念大会において表彰された消防団員家族表彰の伝達も行われました。

2親等以内に(子・兄弟姉妹)の現職消防団員3人以上を有する家族が表彰対象です。

#### 日本消防協会表彰 消防団員家族表彰

黄川田光明 黄川田光一 黄川田悠介  
金野 尊 金野 慎也 金野 敬介

### 大船渡市長表彰・消防団長表彰

大船渡市長表彰 無火災分団表彰

- 5期間無火災分団 第10分団
- 2期間無火災分団 第3分団
- 1期間無火災分団 第2分団 第6分団 第7分団 第9分団 第12分団

#### 大船渡市消防団長表彰

○ラッパ隊 功績証(5年以上在籍)  
古内 清満 菅生 旭  
千田 智幸 久保 将彦  
○まとい組 功績証(10年以上在籍)  
金野 昭博 朴澤 太一  
吉田 大将 鈴木 直  
細川 剛 菊池 信幸  
笹野 隼人

# 末崎小学校防火作品

防火作品は防災意識の高揚を図ることを目的としており、本年度は末崎小学校の児童が防火標語と防火写生を作成しました。数多くの素晴らしい作品の中から一部を紹介します♪



## 防火標語

消しました 確認してから 言う言葉 6年 佐々木梓さん	火の用心 「消した？」は家族の 合言葉 6年 臼井夕菜さん	そのすきが 全てを失う 引き金に 6年 辻 雄太さん	火をつけたら 消すまでその火と にらめっこ 5年 紀室世来さん	火の元は しっかり確かめ もう一度 5年 村上瞭人さん	燃える物 置いてはいけない 火のそばに 5年 榎引優志さん	長話 ガスは止めてる 大丈夫 4年 金 優花さん
--------------------------------------	--	-------------------------------------	--	--------------------------------------	--	-----------------------------------

## 防火写生



1年 紀室百優さん



1年 菅野 蓮さん



2年 村上了健さん



2年 平野瑛大さん



3年 吉田彩歩さん



3年 大和田真乃さん

## 津波・水害対策用 救命胴衣贈呈式

平成25年10月6日(日)、㈱生成インターナショナル様から津波・水害対策用救命胴衣67着が寄贈されました。贈呈式では制作会社のカザワトレーディング代表取締役の加沢慶久様から新沼団長に手渡され、「消防団活動での安全対策の強化に活用します」と新沼団長が謝辞を述べました。

㈱生成インターナショナル様はNPO法人「がんばらんば隊」として、いのちの彩(いろ)や野球のリアスリーグなどのプロジェクトで被災地を支援する活動をしており、このたび、絆プロジェクト三陸の佐藤健理事長を通じて救命胴衣を寄贈していただくことになりました。



救命胴衣にはフード(防災頭巾)がついていて、フードをつけることで頭部を保護し、気を失って頭部が垂れ下がり水面下に没することを防ぐように設計されています。

**消防団員の命を守るために活用させていただきます。ご支援ありがとうございました。**



## 大船渡市消防団1年のあゆみ

### 2013年(平成25年)

- 4/1 消防団幹部辞令交付式
- 19 分団庶務担当者会議
- 20 ラッパ隊辞令交付式
- 21 部長・班長教養
- 5/26 防災訓練・春季消防演習
- 6/16 気仙地区支部初任団員教養
- 6/30 大船渡市消防操法競技会
- 7/13 気仙地区支部視察研修
- 26 後援会連絡協議会総会
- 8/25 機関員教養
- 9/1 岩手県防災訓練
- 10/6 防災訓練・秋季消防演習
- 10/25 分団予防担当者会議
- 10/27 ポンプ巡回整備
- 11/1 纏組辞令交付式
- 10 一般家庭査察
- 11/25 消防団120年・自治体消防65周年記念大会

東日本大震災の発生から間もなく3年がたとうとしています。本年度は、大船渡市消防操法競技会を3年ぶりに開催しました。来年度は気仙地区支部、岩手県消防操法競技会と上位大会が開催されますので各分団の一層の活躍が期待されます。

### 2014年(平成26年)

- 1/5 大船渡市消防出初式
- 28 第1回団本部夜警視察
- 2/25 第2回団本部夜警視察
- 3/2 一般家庭査察
- 13 岩手県消防表彰式

## ポンプ機関技術指導・巡回整備

平成25年10月27日(日)、盛川河川敷、三陸分署、白浜漁村センターでポンプ機関技術指導・巡回整備が行われました。消防ポンプの管理・運用の技術の向上と機器の性能を保持し、災害に対する即応体制の確立を目的に2年に1度行われています。本年度は古川ポンプ様、文林商会様の協力を得て、技術者からの技術指導と性能試験が行われました。担当団員は火災期に入る前に、機械の性能や管理の仕方を再確認する良い機会になり、技術者からのアドバイスを受けて、火災現場で迅速な消防ポンプ操作ができるように熱心に取り組みました。



## 消防団120年・自治体消防65周年記念大会

消防団の前身である『消防組』のスタートから120年目を迎え、さらには昭和23年に制定された消防組織法・消防法による自治体消防発足から65周年を記念し、平成25年11月25日(月)に東京ドームを会場に記念大会が行われました。消防の発展を振り返り、関係者が一致協力して東日本大震災の教訓をいかし、より一層強固な体制づくりに決意を固めるため、全国の消防団員、消防職員、婦人防火クラブ員など約37,000人が集結し、大船渡市消防団からは新沼竹美団長以下27人の幹部が参加しました。



江戸時代の町火消の伝統を受け継ぐ纏(まとい)振りや、はしご乗りの演技を皮切りに3部構成で行われた大会は、天皇皇后両陛下ご臨席の下、第1部の記念式典では安倍晋三内閣総理大臣、伊吹文明衆議院議長、山崎正昭参議院議長、竹崎最高裁判所長官が祝辞を述べられました。第2部の消防実技では消防団のラッパ隊演奏、最新消防車や100年前の腕用ポンプによる放水訓練、消防職員による救助救急訓練が披露されました。第3部では総司会会の徳光和夫さんや平野啓子さん、ナレーションを務めた菅原文太さん、小倉優子さんなどが出演、またAKB48は「恋するフォーチュンクッキー」、布施明さんは「マイ・ウェイ」など歌を披露しました。

水前寺清子さんの「三百六十五歩のマーチ」に合わせダンスをグラウンド内で披露した新沼哲副団長は「消防は百年以上にわたる先人のご尽力によって発展してきた。自らの地域は自ら守るといふ先人の熱い思いを受け継ぎ、未来の消防づくりに全力を尽くさなければならない」と決意を固めました。およそ5時間の記念大会は、参加者全員での消防未来宣言と万歳三唱を最後に幕を閉じました。



## 部の統廃合について

平成25年10月1日に大船渡市消防団組織（部・班）が改編されました。これは消防団員の減少および東日本大震災後の居住区域の変化により分団部・班の改編を行い消防団組織の活性化を図ることを目的としています。

該当部・班	説明	新編成
第4分団第1部	第4分団第2部と統合（1部減）	第4分団は第1部～第5部
第10分団第2部 （小路、石浜、田浜）	小路、石浜は第10分団第1部（港）と統合	第10分団第2部は1班編成
第10分団第3部 （岩崎・野形）	2班から1班に統合	第10分団第3部は1班編成
第11分団第5部 （中村、前田、浪板）	3班から2班に統合	第11分団第5部は2班編成
第11分団第7部	第11分団第6部と統合（1部減）	第11分団は第1部～第6部

## 消防団員入団促進キャンペーン実施中！

消防団は、個々の職業を持つかわら『自分たちのまちは自分たちが守る』という義勇愛郷の精神に基づき、地域の皆さんとふれあひながら安心・安全なまちづくりの実現に努力しています。

### ◎消防団員の待遇

消防団員は、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です。活動中に負傷した場合には公務災害補償などの補償が受けられます。また、被服の貸与、表彰制度、年額報酬や出勤手当、一定期間以上勤めると退職報償金が支給されます。

消防団に興味を持たれた方や、消防団への入団を希望する方は、地域の消防団員、または大船渡消防署・三陸分署・綾里分遣所にお伝えください。

まちを愛する一人ひとりの力を結集すれば地域の安全は、必ず確かなものになります。

《問い合わせ》大船渡消防署（TEL27-2119） 三陸分署（TEL44-2119）

綾里分遣所（TEL42-2119）



## 平成25年は住宅火災で犠牲者が多数発生！

昨年は住宅火災で6人もの尊い命が失われており、大船渡地区消防組合管内で過去に例のない、非常に憂慮すべき事態となりました。この事態を重く受け止め、これ以上火災による犠牲者を出さないために、市民一人ひとりに「火災予防の再確認！」「わが家から絶対に火事をださない！」という心掛けをお願いします。

また、災害時要援護者といわれるお年寄りや、身体の不自由な方を火災から守るため、隣近所で注意を呼び掛け、避難時の協力体制をつくるなど、災害に強い地域づくりにもご協力いただきますよう併せてお願いします。

# 火災ゼロ・犠牲者ゼロ



## 平成25年 火災件数

（平成25年1月1日～12月31日）

建物火災	7件
林野火災	2件
車両火災	2件
船舶火災	0件
その他火災	1件
合計	12件



編集部（回本部）

東日本大震災から間もなく3年がたとうとしています。大量にあったガレキもなくなり、その場所には徐々に建物も建設されはじめました。消防団でも、昨年は3年ぶりの消防操法競技会やデジタル無線機の導入などがあり、今年には気仙地区支部消防操法競技会、被災した屯所の建設も予定されています。少しずつですが復旧・復興の兆しが見えはじめてきたように思えます。これから、さらに空気が乾燥し火災の発生しやすい季節となりますが、火の取り扱いには十分注意していただきたいと思っています。消防団でも予防活動に力を入れていきますのでよろしくお願いたします。

編集部より